

# 啓示

## 知っておきたいキリスト教のことは (65)

「啓示」とは、本来隠されている神的なものが現れ、理解できる形で示されることです。

旧約聖書の中では、神さまは律法や預言によってご自分を現されていきました。エジプトから導き出した者として、また聖なる者、憐れみ深い者、創造者として、神さまはイスラエルの民に関わっていくのです。そしてその中で神さまは、モーセやイザヤといった人物、また預言者などを通してご自分の思いを伝え、人間の歴史の中に介入されるのです。

神さまの思いが、夢の中で告げられたこともありました。また、誰かの元に、神の言葉が降ったと書かれているところもあります。さらに目に見える象徴的な出来事を通して、神さまのご計画が伝えられることもありました。

そして新約の時代になって、神さまはイエス様をこの世に遣わされます。イエス様の誕生の際、母マリアは天使から「あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい」と啓示を受けました。その時にマリアは戸惑いながらも、「お言葉どおり、この身に成りますように」と受け入れます。

そしてわたしたちには、イエス様を通して神さまが啓示されていきます。イエス様によって神さまの愛や恵みが知らされるのです。

わたしたちは、自分の力だけで神さまを認識したり、神さまに近づいたりすることはできません。神さまからの導きがなければ、不可能です。だから神さまは、イエス様の十字架の死と復活によって、ご自分の愛をわたしたちの元に示されました。わたしたちが生きる者となるために、神さまはご自身を啓示されたのです。

どうぞこの神さまからのお恵みを受け入れてください。

次回は「契約」です。お楽しみに。

